

# 大阪市財政の現状と見通し

令和元年10月



## I 大阪市の起債運営

• 起債運営のコンセプト	2
• 大阪市の格付け	3
• 今後の発行予定	4
• 最近の発行実績	5

## II 大阪市の概要

• 大阪市の概要① ～人口・地価～	6
• 大阪市の概要② ～市内総生産～	7
• 市税収入の推移	8
• 変革する都市・大阪と今後の成長戦略① ～観光戦略～	9
• 変革する都市・大阪と今後の成長戦略② ～2025年国際博覧会の開催～	10
• 変革する都市・大阪と今後の成長戦略③ ～夢洲のまちづくり～	11
• 変革する都市・大阪と今後の成長戦略④ ～うめきた2期区域のまちづくり～	12

• 変革する都市・大阪と今後の成長戦略⑤ ～都市インフラの充実～	13
• 市民生活の安全・安心の確保のための取り組み ～防災力の強化～	14

## III 財政の現状

• 財政健全化法における4指標	15
• 市債残高の推移	19
• 市債発行額の推移	20
• 公債償還基金の残高	21

## IV 今後の見通しと取組

• 今後の財政収支概算(粗い試算)	22
• その他(財務リスク・官民連携の推進)	23

## 起債テーマ

### 「Investor Relations(IR)活動の充実による投資家の皆様との信頼関係の確立」

#### 平成24年度から 全年限において「主幹事方式」を採用

- 幅広いお客様との丁寧な対話による実需に基づく条件決定を行うことで、発行条件の透明性・信頼性を高める
- 主幹事方式の特徴である、「均一価格(発行条件)でのお客様向け販売」を徹底し、お客様に安心して発行価格で購入していただける環境をつくる



これらを徹底した起債運営により、お客様が本市債を発行条件で購入された後、流通市場でも適切に価格が形成され、安心して継続保有や売買ができることにより、お客様の満足度を高めていく



DealWatch Awards 2017  
「Local Government Bond Issuer of the Year」



キャピタル・アイAwards  
「BEST ISSUER OF 2017」

**上記起債テーマに基づいたお客様重視の起債運営を一貫して行うことで、地方債市場における盤石な評価の定着と、安定的な調達基盤の構築を図る**

主幹事方式とは

- 発行体(本市)が提案を募集、選定した金融機関を「主幹事」とし、発行体と協議しながら起債運営全般を進めていく方法
- 投資家需要が発行額を満たすスプレッドにて発行するため、市場の実勢に基づいた条件決定が行える

# 大阪市の格付け(地方自治体最上位、国債と同格)

## 平成19年度から「発行体格付け」を取得

- 情報公開を徹底し、市政の透明性を確保する観点から、発行体格付けを取得
- 評価にあたり、今後も滞りなく改革を進めていくことが前提との意見をいただいていることから、今後とも緩むことなく市政改革を進め、市民の皆様、投資家の皆様の信頼を得られるよう努めてまいります

## 本市発行体格付けの状況

### 国際的に高い認知度と実績のある格付会社2社から日本国債と同水準の格付けを取得

#### S&P グローバル・レーティング

**A+** (ポジティブ)

- 多様な経済活動に支えられ、経済基盤は非常に強固
- 財政パフォーマンスが非常に良好で安定
- 極めて高水準の流動性

(資料: 2018年12月18日S&Pレポート)

#### ムーディーズ

**A1** (安定的)

- 中央政府による地方財政監視の強固な制度的枠組み
- 西日本の経済活動の中心としての高い経済力
- 高水準の経常的マージンに支えられた高い財政パフォーマンス

(資料: 2019年3月7日ムーディーズレポート)

# 今後の発行予定

## 発行予定

年限	条件決定日	発行額	払込日	償還日	主幹事
5年債	令和元年11月(予定)	100億円程度	令和元年11月(予定)	令和6年11月(予定)	野村証券、大和証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
10年債	令和元年11月(予定)	100億円程度	令和元年11月(予定)	令和11年11月(予定)	SMBC日興証券 ゴールドマン・サックス証券、野村証券

### 令和元年度 大阪市 全国型市場公募地方債 発行予定(令和元年10月時点)

(単位:億円)

種別	発行額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別市場公募	1,200												
5年債	800		100				100		100		100		
10年債			100				100		100		100		
超長期債	400	<small>30年債(定償債)</small> 100	<small>20年債(定償債)</small> 100	<small>30年債</small> 100				<small>20年債</small> 100					
フレックス枠 (年限・発行方式未定)	800	100	150	50					← 500 →				
共同発行債	300		50				50			30	70		100

※ 発行月及び発行額は今後の状況変化により変更する可能性があります

※ 4月フレックス枠 100億円 … 30年債(定時償還)100億円増額  
 5月フレックス枠 150億円 … 5年債50億円、10年債50億円、  
 20年債(定時償還)50億円増額  
 6月フレックス枠 50億円 … 30年債50億円増額

# 最近の発行実績

## 5年債・10年債

- 需要動向を踏まえて適正なスプレッドを設定
- 需要を着実に積み上げ、増額を実現(30年5月:5年債 50億円、10年債 50億円 令和元年5月:5年債 50億円、10年債 50億円)

		30年9月	30年11月	31年1月	元年5月	元年9月
5年債	条件決定日	平成30年9月6日	平成30年11月2日	平成31年1月10日	令和元年5月10日	令和元年9月4日
	発行額	100億円	100億円	100億円	150億円	100億円
	応募者利回り	0.030%	0.020%	0.020%	0.010%	0.001%
	国債対比(カーブ)	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用
10年債	条件決定日	平成30年9月6日	平成30年11月2日	平成31年1月10日	令和元年5月10日	令和元年9月4日
	発行額	100億円	100億円	100億円	150億円	100億円
	応募者利回り	0.254%	0.264%	0.165%	0.115%	0.050%
	国債対比(カーブ)	+13.0bp	+13.0bp	+13.0bp	+15.0bp	絶対値を適用

## 超長期債

- 投資家の皆様のニーズを踏まえ、柔軟に発行
- 需要を着実に積み上げ、多くの銘柄で増額を実現(発行額のうち100億円を超える分は増額分)

		29年10月	30年4月	30年5月(定時償還)	元年5月(定時償還)	元年10月
20年債	条件決定日	平成29年10月13日	平成30年4月12日	平成30年5月17日	令和元年5月16日	令和元年10月4日
	発行額	150億円	100億円	200億円	150億円	100億円
	応募者利回り	0.635%	0.544%	0.381%	0.218%	0.251%
	スプレッド(カーブ)	+3.5bp	+3.5bp	MS+9.0bp	MS+9.0bp	+5.0bp
30年債	条件決定日	平成29年10月6日	平成30年8月9日	平成31年1月18日	平成31年4月10日	令和元年6月5日
	発行額	150億円	150億円	100億円	200億円	150億円
	応募者利回り	0.973%	0.746%	0.804%	0.487%	0.542%
	スプレッド(カーブ)	+11.0bp	MS+18.0bp	+10.0bp	MS+19.0bp	+9.0bp